

科目ナンバー： DA21

授業コード： 8410000200

講義科目名称： 看護学研究法Ⅱ

英文科目名称： Nursing Research Methodology Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	共通科目
担当教員			
◎高柳智子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30 時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎高柳 智子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 203	【メールアドレス】 takatomo@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 共通科目			
【DP 1】 ◎    【DP 2】 ◎    【DP 3】 ○    【DP 4】 ○    【DP 5】 ○				

到達目標	1 量的研究ならびにミックスメソッドについて、信頼性と妥当性を担保した研究設計を説明することができる。 2 看護学研究者として必要な研究倫理について、研究プロセスに内包する倫理的課題と対応についてを説明することができる。
------	---

授業概要	実証主義から発展し現象を記述・説明・予測・統制する量的研究手法や、質的デザインと量的デザインを統合したミックスメソッドについて理解を深める。加えて、研究する事象に即した測定ツールおよび収集・分析方法を信頼性・妥当性の側面から検討する。さらに、看護学研究者として、誠実で責任ある研究を推進していくために必要な研究倫理について探究する。
------	--

授業計画	1 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：研究倫理1 学修内容：研究者の行動規範、日本における倫理指針 事前学修：日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース【大学院生向け】を受講する 事後学修：本学の規程(研究活動における不正行為への対応に関する規程、研究データの保存等に関する内規)を確認しておく 備考：高柳 2 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：研究倫理2 学修内容：倫理的行動に導く知識と技術 事前学修：文部科学省公表の研究活動における不正行為が認定された事案一覧を確認しておく 事後学修：討議を通して倫理的行動に導く知識と技術をまとめておく 備考：高柳 3 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：研究のパラダイムと方法論 学修内容：量的研究の哲学的背景とその適用 事前学修：今までの学修をふまえて質的研究と量的研究のそれぞれの視座と特徴をまとめておく 事後学修：量的研究を行う上での自身の学修上の課題を整理する 備考：高柳 4 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究におけるデータの取り扱いと分析方法1 学修内容：記述統計、推測統計 事前学修：今までの学修をふまえて記述統計と推測統計の特徴と適用をまとめておく 事後学修：記述統計と推測統計を使う上での自身の学修上の課題を整理する 備考：高柳 5 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究におけるデータの取り扱いと分析方法2 学修内容：統計手法の選択と解釈 事前学修：提示する統計手法に関する課題を遂行しておく 事後学修：統計手法に関する自身の学修上の課題を整理する 備考：高柳 6 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業）
------	---

	<p>学修課題：量的研究デザイン  学修内容：研究目的に見合った量的研究デザイン  事前学修：量的研究の基本的デザインについてまとめておく  事後学修：量的研究デザインの限界と対応を整理する  備考：高柳</p> <p>7  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：研究の枠組み1  学修内容：量的研究における概念枠組み・変数の設定  事前学修：概念枠組み、変数を説明できるようにしておく  事後学修：概念枠組みと変数設定を意識して量的研究論文を読む  備考：高柳</p> <p>8  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：研究の枠組み2  学修内容：サブストラクション  事前学修：サブストラクションにおける理論的システムと操作的システムを説明できるようにしておく  事後学修：関心テーマの量的研究論文についてサブストラクションを行う  備考：高柳</p> <p>9  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：量的研究における厳密性の確保(信頼性・妥当性)1  学修内容：データの厳密性の評価(信頼性・妥当性)の各側面  事前学修：データの信頼性・妥当性を説明できるようにしておく  事後学修：データの厳密性に関する自身の学修上の課題を整理する  備考：高柳</p> <p>10  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：量的研究における厳密性の確保(信頼性・妥当性)2  学修内容：データの厳密性の証拠  事前学修：データの信頼性・妥当性の指標を説明できるようにしておく  事後学修：関心テーマの量的研究論文についてデータの厳密性を評価する  備考：高柳</p> <p>11  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：量的研究デザインを用いた研究論文の批判的分析  学修内容：量的研究論文のクリティーク  事前学修：量的研究論文のクリティーク視点をまとめておく  事後学修：他の量的研究デザインを用いた論文についてクリティークを行う  備考：高柳</p> <p>12  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：ミックスメソッド  学修内容：ミックスメソッドの種類と適用、学問的論点  事前学修：ミックスメソッドの種類と基本デザインをまとめておく  事後学修：基本デザイン以外のデザインを調べまとめる  備考：高柳</p> <p>13  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：ミックスメソッド  学修内容：ミックスメソッドを用いた研究論文のクリティーク  事前学修：ミックスメソッドのクリティーク視点をまとめておく  事後学修：他のデザインを用いたミックスメソッド論文についてクリティークを行う  備考：高柳</p> <p>14  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：尺度開発  学修内容：尺度開発のプロセス  事前学修：関心領域において用いられている測定尺度を複数調べておく  事後学修：尺度開発の看護研究論文を複数読む  備考：高柳</p> <p>15  授業内容  授業形態：演習（遠隔授業）  学修課題：学習のまとめ  学修内容：今後の課題と展望  事前学修：本科目の到達目標について到達度自己評価を行っておく  事後学修：討議を通して今後の学修課題を整理する  備考：高柳</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対して、学修課題のプレゼンテーション内容 60%、討議内容 40%により評価する。
テキスト	最新の文献や論文を使用するため、現時点では指定せず授業内で紹介する。
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	オンライン授業を行います。 毎回、授業内容に沿った予習および課題を行ったうえで、参加してください。

教員からのメッセージ	学修課題を自ら探究するとともに、意見交換を通して学びを発展させていきましょう。
オフィスアワー	開講日は、可能な限り対応(それ以外はメール連絡も可能)